

第3学年音楽科学習指導案

日時：2025年7月16日（水）第6校時
場所：新十津川中学校 3年B組教室
児童：27名
指導者：真部 卓

1. 題材名

音楽を形作っている要素と曲想を理解し、情景を感じ取ろう

～連作交響詩「わが祖国」より「モルダウ」を用いて

<教科書2,3下巻P26>

2 単元について

鑑賞領域の学習において1学年でヴィヴァルディの「春」、2学年でラヴェルの「ボレロ」等を通じて音楽そのものと音楽以外の要素との結びつきや構成について学習した。その中で音楽の諸要素についても触れ、強弱やリズムや調性の変化による音楽的な効果を感じ、それらがどのように表現されているのかを鑑賞することができた。

3学年では本題材のように作曲者が明確なテーマを音楽でどう表そうとしているのかを諸要素を通じて根拠をもって論じる活動を行い、本題材での明確とはいえないテーマをどのように考えていくかに繋げていく。

本題材では、1校時目に「音楽を形づくっている要素（資料②）に着目して聴き、その変化を感じ取り、考えたことの見聞交流ができる」。2校時目を「音楽と作曲者の心情を関連づけて理解する」の2つを各時間で分け、どのような視点で鑑賞するかを明確にし、鑑賞に対する関心を高めさせたい。本時では、作曲者が流れゆくモルダウからの景色の変化をどのような方法で表現していったのかを考えさせたい。板書や説明、話し合い活動にICT機器を取り入れ、より効率的に理解を深めることができるようにした。「見る」「聴く」を一つの動作ででき、情報を効率よく提供できる点はICTの長所であると考えている。

個人の思考の場面や話し合い活動ではロイロノートを使用して好きなタイミングで聴き返すことができるようにし、共有ノートを用いて、お互いの意見を画面上で交流することで班員の意見が可視化され、話し合い活動に反映されるよう工夫した。自らの意見は元より様々な意見を取り入れ、最終的に根拠を持った意見発表ができるような鑑賞活動になるようにしたい。

3 単元の目標と評価規準・指導計画

(1) 単元の目標

○標題音楽の多様な音楽表現に興味をもち、情景をイメージしながらオーケストラの楽器や音色などについて理解する。(知識)。

○音楽を形作っている要素を知覚し、それらの生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、曲に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く(思考力・判断力・表現力等)。

○音楽を形作っている要素や、要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組むとともに、音楽に対する感性を豊かなものにしていく態度を養う(学びに向かう力)。

(2) 評価規準

<教科における「内容のまとめ」と「評価の観点」との関係>

B鑑賞

(1) 鑑賞の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、次の(ア)から(ウ)までについて考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くこと。

(ア) 曲や演奏に対する評価とその根拠 (イ) 生活や社会における音楽の意味や役割

(ウ) 音楽表現の共通性や固有性

イ 次の(ア)から(ウ)までについて理解すること。

(ア) 曲想と音楽の構造との関わり (イ) 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わり

(ウ) 我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴と多様性を感じる

[共通事項]

(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えること。

イ 音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる用語や記号などについて、音楽における働きと関わらせて理解すること。

<文部科学省 国立教育政策研究所「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料より>

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
B鑑賞イ (ア) 曲想と音楽を形づくっている要素との関わりを理解している①②。 (イ) 音楽の特徴と、その背景となる文化や歴史、他芸術との関わりを理解している②。	B鑑賞ア (ア) 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲に関する評価とその根拠について考える①②。	音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている②。

(3) 単元の指導計画

時	ねらい	評価計画		
		知・技	思・判・表	主体的
1	○情景と作曲者の意図した表現との関連性を考える。 ・個人で音源を聞き、有ノートに曲ごとに諸要素と楽曲の関わりを思考し、カードにまとめる。【思・判】 ○グループ内で意見を交流し、意見をまとめ、発表する。 ・共有ノート内で意見を出し合い、話し合い活動を行う。振り返り活動【表】	○	◎	◎
2	・ワークシートに批評・感想を記入。 ○時代背景や他の芸術との関わりを考察する【知】 ○テーマと曲と、それに使用されている楽器群や曲に込められたものとの関連性を探る【思・表】 ・振り返りのアンケートを記入。 ・2時間で学んだこと振り返り、次の学びに活かす。【主】	◎	○	○

4 本時案（1 / 2）

（1）本時の目標

- ①音楽を形づくっている要素に着目して聴き、情景と作曲者の意図の結びつきを考えることができる。
- ②考えたことを元に意見交流ができる。

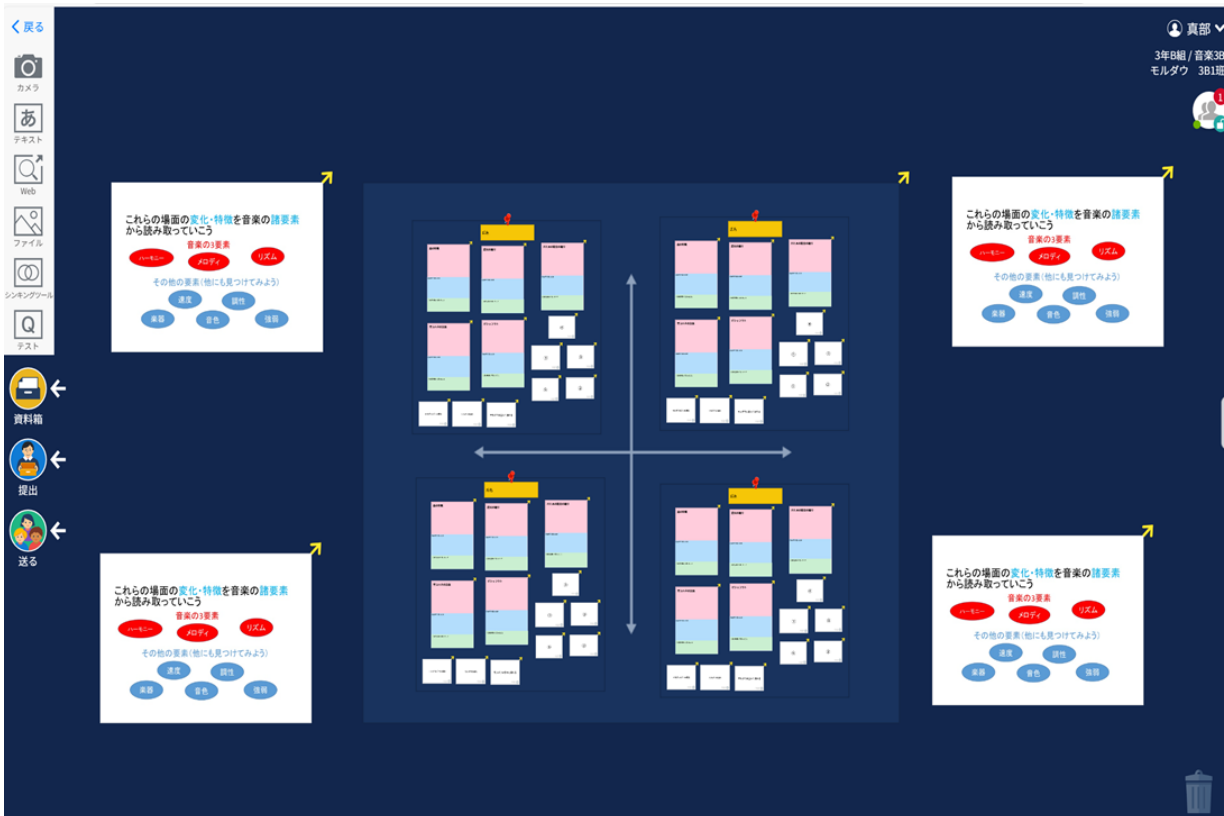
（2）本時の展開

段階	児童の学習活動と内容	教師の発問（○）や手立て（・）	視点との関わり・評価（■）
導入 10分	<p>*授業開始前に共有ノートに入る</p> <p>☆楽曲についての理解を深める（知識）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本時の課題を確認（2分） ○組曲「我が祖国」の説明（5分） ・画面を見ながら、ワークシートに記入する。 <p>☆学習の見通しをもたせる</p> <ul style="list-style-type: none"> ○課題を理解する。 	<p>共有ノート、楽曲カードの作成</p> <p>◇ホワイトボードに本時の課題を板書し、説明</p> <p>*以下全てパワーポイントを使用</p> <p>◇ワークシートを配布</p> <p>◇楽曲・作曲者について説明</p> <p>◇「モルダウ」について説明</p>	
	<p>【課題】</p> <p>○音楽の要素に着目し、</p>	<p>作曲者が音で情景をどう表現したのか考えよう</p>	
展開 35分	<p>○音楽の諸要素の確認（3分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時で着目したい音楽を形づくっている要素を確認する。 	<p>◇諸要素はロイロノートで配布する。</p>	
	<p>☆自分の考えを形成する【思・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○鑑賞（15分） ・個人で思考し、考えをまとめる <p>☆意見交換・話し合い活動【思・表】（18分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・班の中で意見交換をし、スメタナがモルダウ川からの風景をどのように音で表現したのかを話し合う。 ○iPadを用いて聴きなおす。 ○共有ノートに各自意見をまとめる。 ○班ごとに心情の変化を発表 ○各自の意見をまとめ、班の意見とする。 ○班として意見をまとめ、提出箱に提出する。 ○発表・批評（5分） *時間があれば班ごとに発表 	<p>◇個別解決の支援をする。</p> <p>◇全体で鑑賞</p> <p>◇要素を手掛かりに根拠をもって考えることができるよう、助言する。ヒントカードの送付</p> <p>*努力を要する生徒については要素を焦点化し、助言をする。2枚目のスライドを見るよう指示</p> <p>◇提出箱に提出されたものをTVに投影し、全体で交流する。</p>	<p>■鑑賞して感じたことを考え、意見としてまとめようとしている。(思・表)</p> <p>■それぞれが感じたことを話し合い、まとめ、発表することができる。(思・表)</p>
まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> ○まとめ、振り返り（5分） ・アンケートで振り返り活動 <p>☆学習内容を振り返り、次につなげる</p> <ul style="list-style-type: none"> ○次時の学習内容について知る。 	<p>◇ロイロノートでアンケートを配布</p> <p>◇次時の学習内容の予告をする。</p>	<p>■考えたこと、話し合っ て感じたことをまとめる ことができている(主)。</p> <p>■自己評価用紙(主)</p>

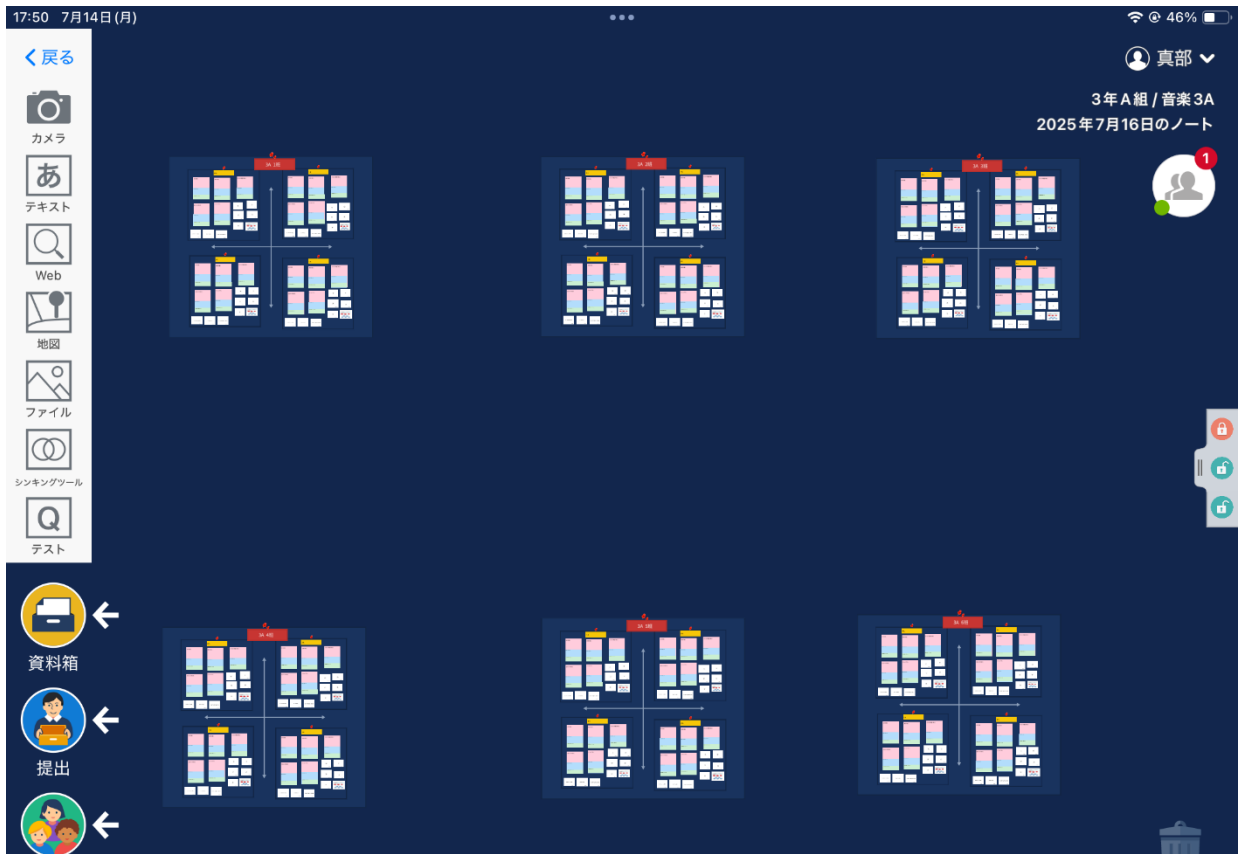
○個人の画面



○グループの画面



○クラスの画面



○ヒントカード (必要に応じて)

